

# 文教いしかわ

BUNKYO ISHIKAWA 石川県文教会館 2016.2 No.73



## － 特集 －

1 頁：巻頭随想  
2・3頁：「新しい人事評価制度について」  
4・5頁：インタビュー「人」

石川県体育協会専務理事 向田 和義 氏  
石川県教育委員会事務局教職員課長 宮崎 栄治 氏  
竹芸作家 橋本 紗織 氏



## 二度目の東京オリンピック

公益財団法人石川県体育協会専務理事 向田 和義

2020年（平成32年）、東京で二度目となるオリンピックが開催されます。前は、1964年（昭和39年）ですから56年ぶりの開催です。当時、私は小学校6年生で、期間中、毎日テレビで世界のトップアスリートの活躍を、胸を躍らせながら見ていたのを思い出します。その前のローマオリンピックの時は、夜、布団の中で祖父と一緒にトランジスターラジオの短波放送で日本選手の活躍を聞いていたので、直接見ることが出来る興奮は今でも忘れることが出来ません。

陸上100mのボブ・ヘイズ、マラソンのアベベ・ビキラ、体操女子のベラ・チャスラフスカ、世界一の力持ちと実況のアナウンサーが言っていた重量挙げジャボチンスキー、日本人選手の活躍も素晴らしいものがありました。金メダリストでは重量挙げ三宅義信、体操個人総合優勝の遠藤幸雄、東洋の魔女と呼ばれた女子バレーボールのニチボウ貝塚、また、惜しくも金メダルは取れませんでした。オリンピックの最後を銅メダルで飾ったマラソンの円谷幸吉などです。

さらに、開会式では昭和20年8月6日、広島に原爆が投下された日に広島で生まれた、当時早稲田大学競走部の坂井義則さんが聖火ランナー最終走者として、国立競技場の階段を駆け上り聖火台に点火した勇姿が目に残っています。

また、あまり知っている人は少ないのですが、前回の東京オリンピック日本選手団の団長は、なんと石川県出身の大島鎌吉氏だったのです。氏は1932年（昭和7年）のロサンゼルスオリンピックにおいて、陸上三段跳びで銅メダルに輝いたアスリートです。しかも、前日、選手村のガス風呂の事故で足や腹にやけどを負いながら出場しての

銅メダルで、金メダルも夢ではなかったと本で読みました。いずれにしても、少年の私にとってスポーツの素晴らしさを実感し、大きな夢や希望をもたらした数日間でした。この東京オリンピックがきっかけでスポーツに取り組むようになり、今でもスポーツに関わらせていただいています。

さて、4年後にはいよいよ東京で二度目のオリンピックが開催されます。国内の気運も高まっています。多くの感動が生まれることと思いますが、本県からも一人でも多くの選手が出場してもらいたいと願っています。

現在、県では東京オリンピックも見据え、国際的に活躍できる選手を育成するために今年度で二年目となる「いしかわグローバルアスリート支援事業」を行っており、県体協も協力しています。これまでに国際的に活躍できる選手を育てた実績のある8競技において取り組みが進められています。この事業が成果を上げ、本県ゆかりの選手が夢の晴れ舞台で素晴らしいパフォーマンスを発揮して県民のみならず、多くの国民に感動を届けてくれることを願い、私も微力ながらお手伝いをしていきたいと思っています。



本県ゆかりのオリンピック出場選手の名を刻んだ記念碑  
(いしかわ総合スポーツセンター)

# 新しい人事評価制度について

石川県教育委員会事務局

教職員課長 宮崎 栄治



## 1 はじめに

地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律（平成26年法律第34号）が、平成26年5月14日に公布されました。本法は、地方公務員について、人事評価制度の導入等により能力及び実績に基づく人事管理の徹底を図るとともに、退職管理の適正を確保するための所要の措置を講ずることをその内容とするものです。

本法の施行については、公布の日から起算して2年を超えない範囲内において政令で定める日から施行することとされています。

改正地方公務員法では、「人事評価の根本基準」（第23条）として、職員の人事評価は公正におこなわれなければならないこと、また、任命権者は、人事評価を任用、給与、分限その他の人事管理の基礎として活用するものとするが規定されています。

この根本基準に基づき、任命権者は、人事評価の基準・方法など必要な事項を定め、それに従い、職員の執務について定期的に人事評価を行うとともに、人事評価の結果に応じた措置を講じなければならないことを定めています。（第23条の2、第23条の3）

## 2 本県における導入の背景と現状

国際化、情報化、高齢化など、社会が大きく変化していく中で、家庭、地域社会、職業観などが急激に変化しており、様々な教育課題が生じてきています。こうした状況の中で、学校は、保護者や地域社会から信頼される特色ある学校づくりと開かれた学校づくりを行い、それぞれの学校が、教育活動やその結果に対する説明責任を果たし、学校の教育力を向上させていくことが求められています。県教育委員会では、保護者・地域に信頼される学校づくりを推進するために、

- ・適正な評価を行い、教職員の意欲の向上を図ること。
- ・教職員の能力開発・人材育成を図り、学校の教育力を高めること。
- ・校長のリーダーシップの下、教職員一人ひとりが学校運営に参画することで学校組織の活性化を図ること。

を基本理念として、平成18年度から教職員人事考課制度を実施してきました。

制度の導入から5年を経て、より活用しやすく人材育成に資する制度とするために、「意欲」、「能力」、「実績」の3つの評価項目を再編し、「能力評価」と「業績評価」に変更するなどの見直しを行い、平成24年度からは新たな教職員人事評価制度を実施しています。

一生懸命頑張っている教職員の努力に報いるためには、評価結果を給与などの処遇に反映させることが重要であり、県立学校の管理職については、平成20年12月から評価結果を勤勉手当の成績率に反映しており、また、平成24年12月から市町の小中学校の管理職にも導入しているところです。

一般教職員についても、職員の意欲を喚起する上で、評価結果の処遇への反映は重要であることから、平成26年12月期の勤勉手当から県立学校の非管理職も対象に加え、評価結果の勤勉手当の成績率への反映を実施しました。

## 3 人事評価制度の概要

新たな教職員人事評価制度は、人事管理の基礎として、教職員の職務遂行や勤務実績をできる限り客観的に把握・評価し、その結果を個々人の適性に応じた適材適所の人事配置や能力開発、適切な給与処遇に活用するものです。

### 人 事 評 価

#### 【能力評価】

職務遂行に当たり実際に発揮した能力を評価する。  
〈5段階の絶対評価〉

#### 【業績評価】

職務上挙げた業績をプロセスや質的な達成水準を含め評価する。  
〈5段階の絶対評価〉

※人事評価（能力評価、業績評価）は、毎年2回、定期（9月・3月）に行う。

さらに、評価の過程における目標設定や面談等を通じ、組織内コミュニケーションの充実、学校運営への参画意識の向上を図ることも目的としています。

### 面 談

#### 【当初面談】

- ・分担する職務の明示
- ・目標へのアドバイス
- ・職務等への指導助言

#### 【中間面談】

- ・進捗状況の聞き取り
- ・評価結果の開示
- ・職務等への指導助言

#### 【期末面談】

- ・成果と課題の聞き取り
- ・評価結果の開示
- ・次年度への指導助言

面談を通じて、個々の教職員と目標や課題を共有し、業務状況を把握するとともに、評価結果のフィードバックやそれに基づく指導・助言を行うことにより、学校運営への参画意識の向上や人材育成の促進

を図ることを目的としています。

フィードバックの趣旨は、評価者が評価結果を被評価者に伝え、個々に助言や指導を行うことにより、具体的な業務遂行に反映していくこと、及びそれを契機として教職員が自ら主体的に能力開発に取り組むことを目的としています。また、評価結果を本人に開示することにより、制度の透明性を高めるものと考えています。

目標設定は、教職員の学校運営への参画意識の向上を図り、自発的チャレンジを促進し、当該年度重点的に取り組む目標を校長（副校長・教頭）と共有することにより、業務への意欲を高めることを目的としています。

自己評価は教職員自身が当期の業務遂行について振り返ることにより、その経験や反省を次期以降の業務遂行へ反映させ、また、自らの長所・短所への気付きを得ることを目的としています。

人事評価のプロセス、結果に対する公正性の確保といった人事評価制度そのものの信頼性を確保する観点から、教職員の苦情に的確に対応するため、「苦情相談」、「苦情処理」の仕組みを設けています。

苦情相談の基本は、まずは当事者同士（評価者と被評価者）がよく話し合うことであり、日頃からのコミュニケーションを通じて、評価に対する疑問や不満等の解消を心がけることが大切であると考えています。

なお、当事者同士で解決できない場合には、苦情処理において対応することになります。

苦情処理は、県教育委員会教職員課を窓口とし、苦情相談で解決できなかった苦情を受け付けることとなります。具体的には書面による申出に基づき、ヒアリング・調査等により事実関係を確認の上、評価結果についての妥当性を審査するなどし、その結果を申出人及び該当学校長に報告します。評価結果が妥当でないと判断された事案については、評価者に対して理由を付して再評価を指示することになります。

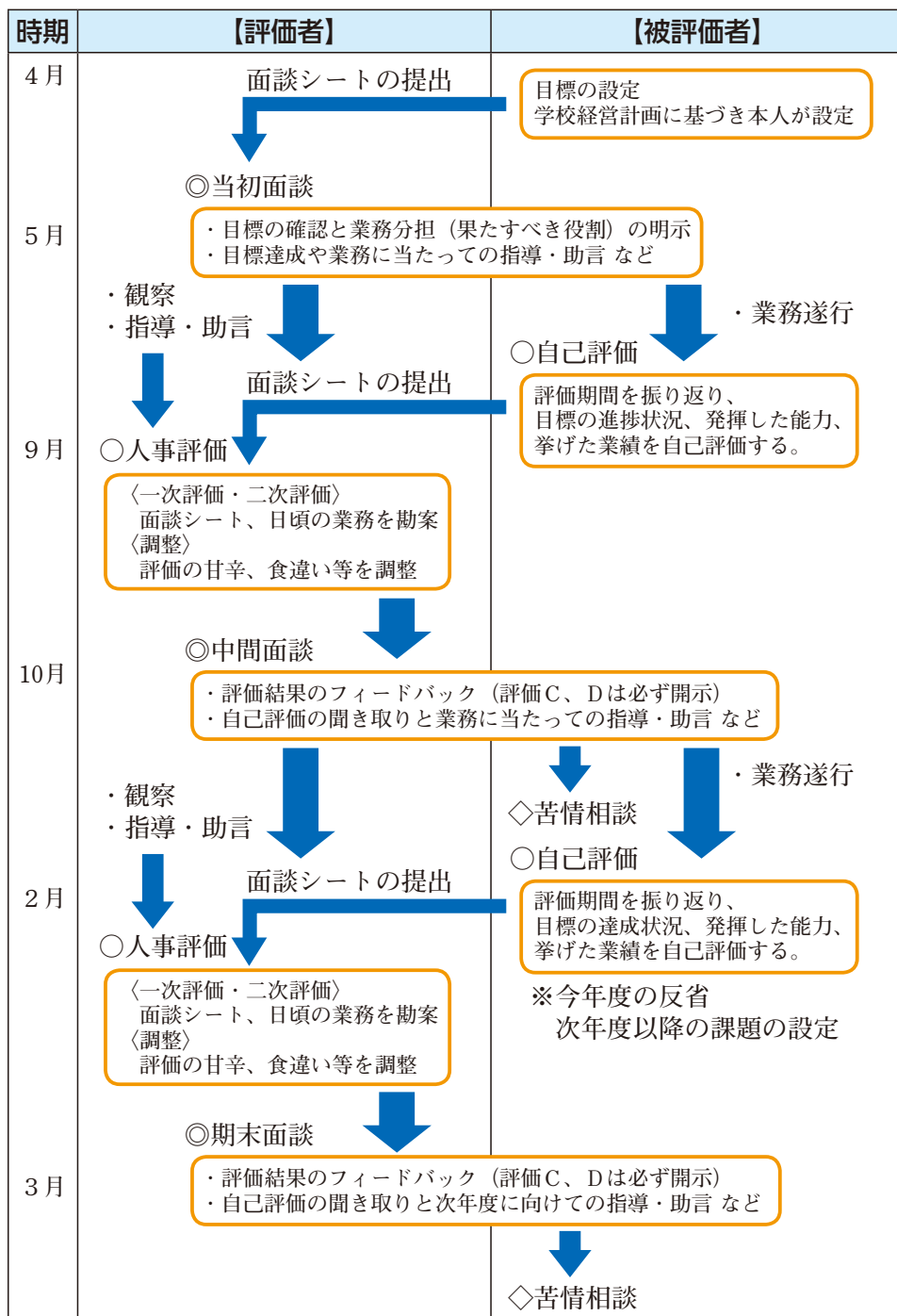
#### 4 おわりに

人事評価の本来の趣旨を達成するためには、評価者の心構えの徹底も重要であると考えており、管理職研修等の機会に評価者研修を実施し、評価者に求められる姿勢について以下の4点について確認しています。

- ・評価は重要な担当業務であると認識すること。
- ・主観的な判断基準で評価しないこと。
- ・人間性や人格ではなく、職務における行動や結果を評価すること。
- ・日頃から被評価者の職務行動を把握すること。

県教育委員会といたしましては、今後とも人事評価制度が職員の意欲を喚起し、人材育成の重要なツールとなるよう、趣旨の周知・徹底を継続してまいりますと考えています。

#### 《人事評価の流れ》

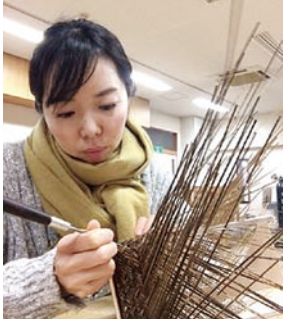




## 竹芸作家 橋本紗織さん

大学卒業後、出版社勤務を経て2005年京都より金沢へ戻る。兼六園近くの祖父で竹芸作家「橋本仙雪」の工房跡地にて喫茶「竹屋」を開業。祖父の没後、竹芸の世界に入る。2012年金沢市工芸展に初入選。翌13年には同展にて奨励賞受賞、兼六園大茶会工芸公募展において石川知事賞受賞。金沢市工芸協会会員。

インタビュアー 文教会館 館長 宇都宮 博



**館長** 石川県では現在何人くらい、竹芸作家がおられますか。

**橋本** わずか3、4人で弟子を持つ方もおいでません。

**館長** 石川県は、伝統工芸が盛んですが、竹芸は担い手も少なく、まさに稀少伝統工芸といえますね。

### ～祖父 竹芸作家「橋本仙雪」との思い出～

**館長** その稀少工芸作家の一人が橋本さん。橋本さんのおじい様「橋本仙雪」様は、加賀の竹芸界を牽引し日本工芸会会員としても活躍された名工と聞いています。橋本さんには、どんなおじい様の思い出がありますか。また、竹芸の道に入ったきっかけは、何だったのでしょうか。

**橋本** 子どもの頃、祖父の家へ遊びに行くと、店先に使い込んだ道具類や竹が整然と並んでいたのは覚えています。ただ、制作に没頭する姿は見たことがなく、工芸家としての祖父の思い出はありません。父は子どもの頃手伝われ嫌になり別の仕事に就きました。私が大人になり金沢へ戻ってから喫茶店を開くと、祖父を知るお客様たちに「なぜ誰も継がないの？貴女がやればいいのに、もったいない」と度々言われました。祖父の唯一の弟子である本江和美さんがおいでる際は同席させられたり、店内に作品を飾る手伝いをしているうちに、最初は「地味」だと思っていた祖父の作品のすごさに気づくようになっていきました。そして2008年祖父の逝去後、「橋本仙雪・本江和美 師弟展」の開催準備を手伝いながら、「祖父が打ち込んだ竹芸について勉強したい。灯が消えそうな竹芸を守り、人に伝えていきたい。祖父のことを忘れて欲しくない」と思い始めました。一方、祖父のような仕事が私にできるはずがない、この先ずっと比べられると葛藤しましたが、最後は「作ってみたい」という気持ちに素直になり、翌年、本江先生が指導する金沢市の稀少伝統産業専門塾竹芸コースに中途入塾させて頂きました。ですから祖父の作品に導かれ、竹芸の道に足を踏み入れたといえるかもしれません。

### ～多大な時間と手間がかかる作品作り～

**館長** 兼六園近くにあったおじい様の竹工房跡地で喫茶業をしながら竹芸の習得に励み出し、約6年たったわけですが、作業の工程について教えてください。

**橋本** まず、竹ひごを作るために丸竹の表皮を銚で落

とし、番数の違うペーパーで5回に分けて磨き、表皮を整え、それから鉋で半分に割ります。さらに半分、半分と。割った後は、身を3回に分け鉋ではぎ、幅を揃え、面をとり、厚みをとるのです。この作業を一本一本繰り返し、それから染色液につけようやく材料の竹ひごができます。慣れない間は失敗が重なり、材料がどんどん減っていきます。編み目やサイズに必要な竹の本数が決まるのですが、精巧な茶籠になると幅1mm、厚さ0.1mmの竹ひごを千本以上も作ります。

**館長** かなり作業的にはきついですね。

**橋本** この下準備に時間と手間がかかりますが、作品の仕上がりが変わってくるので手抜きはできません。設計や編組には倍以上時間がかかります。作り出す前に方眼紙やエクセルを使って網代の模様を考え、小さな試作品を作ります。1mmに満たない程度でも違うとひごの取まりが悪く、ぴったりの幅と厚みを探るまでが、また大変です。いざ編み出しても1時間に2～3段しか編み進められないのです。ですから下準備のひご作りは、無駄なく効率よく取り組まねばなりません。

**館長** 機械化できず、基本は人間が編むのだから多大な時間と手間がかかるのですね。私は高校に勤務していましたが、高校野球で強いチームか弱いチームかは試合前の練習を見れば分かります。強いチームは段取り力もあれば企画力もありそれが体に染みついているのです。段取り力の差が技術の差に繋がり、その力は、日々の練習の中で培われ、無駄なことをしないのがプロで、熟練すると無駄が無くなり、理にかなった動きになってくるのですね。

さて、竹は日本全国で自生していると思うのですが工芸品に向いているのはどんな竹ですか。



**橋本** 真竹です。固く加工しやすく節の間が長いので、利用範囲が広いのです。真竹は、石川県ではごく一部の山にしか自生していませんが、この間情報を得て鈴見の山へ取りに行きました。山中をかきわけ進み思ふような竹を探し鋸で切るのです。

**館長** それは頼もしいですね。

### ～公募展への挑戦～

**館長** これまでにどんなものを作っておられるのですか。

**橋本** 専門塾では、自分が作りたいものに取り組みながら技術の習得に努め、花籠や箱物を作りました。人

間国宝の作品や定番の茶道具の写しにも励むようになり、2年過ぎた頃、「公募展に出してみたら」とすすめられ、市の工芸展や兼六園大茶会工芸公募展に挑戦するようになりました。

**館長** 公募展での受賞は、励みになるでしょう。

**橋本** 思うようなものができずに焦り、ギリギリまで試行錯誤しながら、やっと公募展の〆切に間に合わせています。くじけそうになる時思い出すのは、祖母から聞いた祖父の話と木工専門塾の福嶋則夫先生の言葉です。

**館長** どんなことでしょうか。

**橋本** 祖父は制作中思うようなものができず、時には泣きながら作品作りに励んでいたそうです。

そんな姿を見て「泣くほど辛いならやめれば」と言う祖母に、祖父は「今やらなくて



どうするんや！」と言ったそうで、作品作りは厳しく執念そのものだと祖母は思ったそうです。そんな話と重なるのが、公募展の出品に自信を持ってない私に「できる、できないじゃない。やるんや！」と福嶋先生に檄を飛ばされたことです。だからこそ賞を頂いた時は、認めてもらえたという思いで素直に嬉しく、一步階段を上れたと感じます。続けて出品することで自分の成長の度合いも分かり、次の目標の設定もできます。また、課題も見つかります。ですから、今後も工芸展には出し続けていきたいと思っています。

**館長** 今はまだ修業中かと思いますが、難しい、苦しいなど思うのはどんな所ですか。

**橋本** そうですね、現在は喫茶業をしながらの制作のため、仕事との両立が難しいです。あと、安い製品が出回る今、時間をかけて作る作品を高いと思われることに、ジレンマを感じます。でも、苦しいと思うよりも、私は竹を割る、編む、そんなことを無心になりながら竹に向き合う作業が好きなのです。

### ～石川・金沢で竹工芸に励む喜び～

**館長** 橋本さんは韓国でも研修をなさったそうですね。

**橋本** はい、昨年2月に金沢市の支援を受け、ソウルや利川などユネスコ創造都市を中心に草蓐工芸や漆芸、陶芸、韓紙工芸、合竹扇などの作家の工房を訪問させて頂きました。本物の素材に拘った作家たちとの出会いは、刺激的でした。竹林の都・潭陽郡の竹芸作家からは、染色の方法や糊付け方法、網代のパターンなど独自の手法を教えて頂きました。

また、中学生に竹細工実演の特別授業をさせて頂き日本の文化に興味を持ってもらえ嬉しかったです。このような研修ができるのも金沢ならではの感謝しています。

また、私は伝統工芸への理解が深い石川、奥行きのある金沢の街が大好きで、美術館や展覧会に出かけ街中をよく歩きます。金沢は素敵な工芸品に出会える街で、作品の面白さに感銘を受け素材が竹だったらと考

えさせられ、刺激を受けることが多々あります。それと、金沢には加賀繡や加賀象嵌などジャンルは違いますが、工芸と仕事を両立させながら工芸の道を歩む尊敬すべき仲間が多くいて、孤独感がないのもいいです。泣き言はいってられません。

**館長** 石川県は、加賀前田家の方針で江戸時代より伝統工芸に力を入れていますから、後押ししてくれる環境があるということ。そして、「工芸都市金沢」の街や仲間に繋がり、刺激を受けて作品の幅が広がってきているということですね。

**橋本** そうです。街や人が後押しになっています。金沢ではお茶会が盛んですが、あるとき床の間に祖父と私の作品と一緒に並べてあり、座主の先生が私の作品を「橋本仙雪さんのお孫さんの作です」とお客様に紹介してくださいました。嬉しくて、期待に応えていきたいと心を動かされました。

### ～今後の抱負～

**館長** 金沢は、茶道も華道も盛んですから今後も道が広がっていくでしょう。その際マーケティング、即ち、今求められるニーズは何なのかを分析することも大事になりますね。今後どういう抱負をお持ちですか。

**橋本** ニーズがあるバッグ等のクラフト品も作っていきたいですが、金沢では茶道や華道に繋がる花籠や茶道具もニーズがあります。ですから、私は、やはり、石川県で育まれた伝統工芸の担い手として、網代の編み方など技術的な不易の部分を大事にし、後世に残る工芸品としてのものづくりを追求していきたいと思えます。

**館長** 時代のニーズを取り入れ新しい物を生み出していくことですね。しかし、ベースをおろそかにしては、発想力やひらめきは生じません。学ぶことはまねぶことだとも言います。おじい様の作品の魅力を探るのも良いですね。

**橋本** はい。ベースがあるから新しい物が生まれますし、伝統は革新の中から生まれると思います。先達の作品から学び吸収していくことは、とても大切です。そこからオリジナリティをどう出すかが大事になりますが、自然に恵まれ豊かな文化が息づく石川県らしい、この土地ならではのカラーがきっとある筈です。それを模索し、作品に表現していくことが目指すところだと思っています。私の強みは祖父仙雪の作品を手に取り学ぶことができることです。どこにあってでも祖父の作品は見たら祖父の作と分かるのです。美しい形、重厚な深い色合い。そこに辿り着くまでの道程は遠いですが、多くの人に教えて頂きながら精進していきたいと思えます。

**館長** 今後のますますのご活躍をお祈りしております。



事業報告

第28回 いしかわ県民陶芸展

期間:平成28年1月16日(土)~24日(日)

今年も、県内の陶芸愛好家の皆様から数多くの力作が寄せられました。出品者の年齢層は5歳から90歳までと幅広く、作品数は一般103点、青少年76点、招待作品3点の合計182点にのびりました。

1月17日の表彰式では、審査員の飯田雪峰氏から「粒ぞろいでレベルが高く、審査が難しかったです。特に青少年の作品が素晴らしく、心の目で見ると作者の一生懸命さが伝わってきます。常識にとらわれず、純粋な気持ちを素直に表現した作品には、審査員一同心惹かれました。」との講評を頂きました。その後、飯田審査員による作品解説が行われ、多くの来場者が個性あふれる作品の数々を熱心に鑑賞されていました。

いしかわ県民陶芸大賞 (最高賞)



「8月のおひるね／12月のおひるね」

關田 絃代／堀岡 真 (県立七尾特別支援学校)

審査員寸評「審査員の心を大きく動かした最高のオブジェ。全作品の頂点です。陶芸の新しい世界を感じさせ、つくる時代を変えて感ずる世界。作品に耳をかたむけ、声をかけたくなる最高の作品で、制作者たちと早く会いたい気持ちです。」

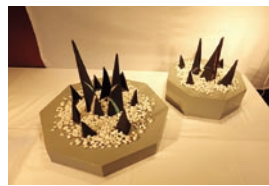
☆石川県教育委員会賞 2点

・「花入『冬の荒波』」本田 一美 (金沢市)

審査員寸評「野焼きの焼成は、自然に委ねる自然からのプレゼントだと思います。この造形にこの景色、白化粧土の力強い景色が、最高の魅力です。」



・「岳」中野 航太郎／武部 渉 (県立寺井高等学校)



審査員寸評「これまでの展示になかっためずらしい作品で、両者が制作をしている姿までも感じさせます。色んな会話が聞こえますよ。軽石は会話の中での笑い声にも感じます。きっと素敵な会話となったことでしょう。」

☆文教会館理事長賞 10点

- ・「花器」 室田 和香枝 (金沢市)
- ・「人」 中山 和良 (金沢市)
- ・「陶板画 (赤富士)」 高島 宏 (金沢市)
- ・「野葡萄文花器」 小室 豊昭 (志賀町)
- ・「軍団」 藤本 勲 (中能登町)
- ・「黒搔き落とし陶板時計『Time Road』」 県立加賀高等学校1年 共同制作
- ・「錆びた鎖」 奥成 恵子 (能登町立小木中学校)
- ・「はっけよい！」 宮野 克浩 (県立いしかわ特別支援学校)
- ・「アクセザリースタンド」 中本 未来 (県立工業高等学校)
- ・「Ventの王冠」 林田 命 (県立寺井高等学校)

来場者アンケートから

- 力作ぞろいで感動しました。特に、青少年の豊かな発想には驚きました。
- 年々レベルが上がり、毎年楽しみにしています。
- アマチュアとは思えないほど素敵な作品ばかりで、私も挑戦したくなりました。



飯田雪峰審査員による作品解説

「いしかわ教育ウィーク」関連行事

期間:11月1日(日)~8日(日)

教育資料ロビー展「文教会館所蔵 小学校『国語』教科書のあゆみ展 ~教え手・学び手の想いをのせて~」

当財団が所蔵する教育資料約5万点のうち、明治期から現代に至るまでの教科書は現在約6千点あります。その中から今回のロビー展では、学びの原点ともいえる「言葉の力」を育む小学校『国語』の教科書約300点を時代毎に展示しました。

このロビー展にあたり、各時代の教え手・学び手のべ約200人に国語に関するアンケートを行い、それぞれの時代や立場の様々な想いが伝わるような教科書展示を工夫しました。

期間中、多くの方にご覧いただき、戦後70年の、そしてこれからの教育について考えていただく機会となったのではないのでしょうか。

★当財団所蔵の教育資料は地下資料室で閲覧ができ、学校等への貸し出しも行っております。事前に文教会館TEL.076-262-7311までお問い合わせください。なお、蔵書リストは当館ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。



教育史セミナー開催 演題「能登を詠んだ家持」

教育ウィーク中の11月2日(月)、当館4階大会議室において、村井加代子氏(元県立金沢錦丘中学・高等学校長、元石川県立図書館長)にご講演いただきました。奈良時代、越中国に国守として赴任した大伴家持が能登路巡行中に詠んだ歌の数々を、ご自身で撮影された現地の風景写真とともに楽しくご紹介いただきました。参加者は、村井先生の軽妙な語り口に引き込まれ、ゆかしき時代の能登の自然や家持の心情に思いを馳せる貴重なひとときとなりました。



事業紹介

教育資料収集整理事業 **文教会館教育資料ロビー展のご案内**

当財団では教科書や教育用具、教育文献等、県内の貴重な教育資料を収集し、保管や展示を行っています。その一環として、当館の1階ロビーでは、年間を通して収集資料の紹介や県立学校の特徴ある教育活動の紹介をしています。また、特別展として随時、教育関係団体の活動紹介や写真展、児童の作品展示なども行っています。

平成28年度は20回のロビー展(県立学校39校の出演)を予定しています。当館のロビー展が、県民の皆様にとって、教育に対する関心と理解を深める機会となれば幸いです。

いつでもお気軽にお立ち寄りください。

**平成28年度 教育資料ロビー展(予定)** 場所: 文教会館1階ロビー **無料**

| No.                           | 期 間                | 展 示 名            | 内 容                             |
|-------------------------------|--------------------|------------------|---------------------------------|
| 119                           | 4月                 | 文教会館収蔵資料公開展      | 平成27年度の収集資料                     |
| 120                           | 4月～5月              | 学校の一年をふり返る       | H27年度の県立学校等の刊行物<br>(学校新聞・生徒会誌等) |
| <b>5月～3月 特色ある学校の活動(39校予定)</b> |                    |                  |                                 |
| 121                           | 5/6(金)～22(日)       | 県立金沢二水高等学校       | 二水高校紹介                          |
|                               |                    | 県立工業高等学校         | 友禅パネル                           |
|                               |                    | 県立七尾特別支援学校珠洲分校   | 学校紹介                            |
| 122                           | 5/26(木)～6/7(火)     | 県立金沢泉丘高等学校       | A Iプロジェクト(課題研究)の研究結果ポスター展       |
|                               |                    | 県立羽咋工業高等学校       | 学校活動紹介                          |
| 123                           | 6/11(土)～26(日)      | 県立羽咋高等学校         | 羽咋高校紹介                          |
| 124                           | 6/30(木)～7/12(火)    | 県立金沢辰巳丘高等学校      | 大きな明日へ～本校30年の歩み～                |
|                               |                    | 県立田鶴浜高等学校        | 看護師・介護福祉士をめざす田鶴浜高校              |
| 125                           | 7/16(土)～31(日)      | 県立金沢西高等学校        | 金沢西高校での高校生活                     |
|                               |                    | 県立門前高等学校         | 学校紹介                            |
| 126                           | 8/4(木)～16(火)       | 県立盲学校            | 盲学校紹介                           |
|                               |                    | 県立医王特別支援学校       | 学校紹介                            |
|                               |                    | 県立七尾特別支援学校       | 学校紹介                            |
| 127                           | 8/20(土)～9/4(日)     | 県立錦城特別支援学校       | 錦城特別支援学校作品展示                    |
|                               |                    | 県立いしかわ特別支援学校     | いしかわ特別支援学校の教育活動                 |
| 128                           | 9/8(木)～20(火)       | 県立穴水高等学校         | 学校紹介(キャリアコースについて)               |
|                               |                    | 県立能登高等学校         | 能登高校紹介                          |
| 129                           | 9/24(土)～10/10(月・祝) | 県立大聖寺高等学校        | 大聖寺高校紹介                         |
|                               |                    | 県立加賀高等学校         | 加賀高校の取り組み                       |
|                               |                    | 県立津幡高等学校         | 学校生活の様子                         |
| 130                           | 10/14(金)～26(木)     | 県立金沢伏見高等学校       | 学校の紹介                           |
|                               |                    | 県立金沢向陽高等学校       | 学校生活の紹介                         |
| 131                           | 11/1(火)～           | 「いしかわ教育ウィーク」関連行事 |                                 |
| 132                           | 11/11(金)～23(水・祝)   | 県立小松工業高等学校       | 小松工業高校の活動                       |
|                               |                    | 県立志賀高等学校         | 青春全開志賀高!                        |
|                               |                    | 県立輪島高等学校         | 学校紹介                            |
| 133                           | 11/26(土)～12/8(木)   | 県立内灘高等学校         | 特色ある本校の教育活動                     |
|                               |                    | 県立七尾特別支援学校輪島分校   | 学校紹介 作品展示                       |
| 134                           | 12/13(火)～25(日)     | 県立小松商業高等学校       | 学校紹介と商品開発                       |
|                               |                    | 県立松任高等学校         | 松任高校の取り組み                       |
|                               |                    | 県立金沢桜丘高等学校       | 金沢桜丘高校学校紹介                      |
| 135                           | 1月                 | いしかわ県民陶芸展(予定)    |                                 |
| 135                           | 2/1(木)～14(火)       | 県立寺井高等学校         | 寺井高校美術展                         |
|                               |                    | 県立翠星高等学校         | 翠星高校の紹介                         |
|                               |                    | 県立七尾高等学校         | いしかわニュースーパーハイスクール 他             |
|                               |                    | 県立明和特別支援学校       | 明和特別支援学校の紹介                     |
| 136                           | 2/17(金)～28(火)      | 県立小松明峰高等学校       | 明峰歳時記                           |
|                               |                    | 県立小松特別支援学校       | 学校紹介                            |
|                               |                    | 県立小松瀬領特別支援学校     | 小松瀬領特別支援学校の紹介                   |
| 137                           | 3/4(土)～16(木)       | 県立金沢北陵高等学校       | 岩手県立宮古工業高等学校との交流                |
|                               |                    | 県立七尾東雲高等学校       | 演劇科の取り組み                        |
| 138                           | 3月                 | 平成28年度 文教会館のあゆみ  | 自主事業の写真展示 等                     |

**ロビー展の様子**



文教会館収蔵資料公開展



特色ある学校の紹介  
(県立加賀聖城高等学校)



(県立宝達高等学校)



(県立七尾特別支援学校)



特別展  
(紙芝居『禁酒村と学校の話』)

★ロビー展に出展を希望される学校や団体は、文教会館までお問い合わせください。  
TEL 076-262-7311

★これまでのロビー展の様子は当館ホームページからご覧いただけます。

教育資料ロビー展

平成28年度 文教国際理解講座のご案内 -ネイティブスピーカーによる簡単な語学講座です-

| 講座       | 内容                           | 曜日               | 講座時間 (100分)  |
|----------|------------------------------|------------------|--|
| 英米文化 初級  | 挨拶程度の会話をしよう<br>(英検3級程度)      | 木<br>木           | 10:00~11:40<br>18:30~20:10                               |
| 英米文化 準中級 | 英語で簡単な会話ができるように<br>(英検準2級程度) | 火<br>水<br>水<br>木 | 18:30~20:10<br>10:00~11:40<br>18:30~20:10<br>10:00~11:40 |
| 英米文化 中級  | 英語で日常の会話ができるように<br>(英検2級程度)  | 火<br>水<br>木      | 10:00~11:40<br>10:00~11:40<br>18:30~20:10                |
| 英米文化 上級  | 日本語同様に会話ができるように<br>(英検準1級程度) | 火                | 18:30~20:10  |
| 韓国文化 初級  | 韓国文化やハングルに親しむ                | 水                | 19:00~20:40  |
| 中国文化 初級  | 中国語(標準語)や中国の文化に親しむ           | 水                | 19:00~20:40  |

実施期間：平成28年5月～平成29年3月  
 対象：教職員 一般 高校生  
 定員：1講座20名程度  
 受講料：年額36,000円(年35回)  
 (教材は実費負担)  
 応募期間：平成28年3月10日(木)～4月10日(日)  
 ※応募期間が過ぎても定員に空きのある講座には途中入会ができます。



中国文化初級 講座の様子

申込方法：文教会館までお問い合わせください。  
 ※当館のホームページから申込書をダウンロードできます。

文教会館国際理解講座

外国の言葉や文化を学ぶ  
 楽しいひとときです。  
 ぜひ応募ください!

文教アートウェイブのご案内

-演劇・演奏会・リサイタル等にご利用ください-

文教アートウェイブ事業では、地域文化の振興を図ることを目的に、演劇や演奏会等の公演を希望される方に利用料と冷暖房費を無料でホールをお貸ししています。(照明設備費等有料) リハーサルを含む3日間(連続)までご利用できます。公演ご希望の方は文教会館事業課までお問い合わせの上、お申し込みください。



金沢高校 サマーコンサート (H27.7.18)

【平成29年度公演 募集期間】 平成28年5月1日～9月30日

<今後の公演予定>

※公演の日時等は変更になる場合がございます。

|   |                                  |
|---|----------------------------------|
| 金沢伏見高等学校吹奏楽部 第3回定期演奏会<br>◇入場料：無料                        | 3月21日(月・祝)<br>14:00～(開場13:30)    |
| 忠縄美貴子教授活動20周年・スタジオ開設10周年記念公演<br>◇入場料：一般3,000円(当日3,500円) | 6月12日(日)<br>17:00～(開場16:30)      |
| 金沢高等学校 合同演奏会 サマーコンサート<br>◇入場料：無料                        | 7月16日(土)<br>18:00～(開場17:30)      |
| 金沢桜丘高等学校吹奏楽部 クリスマスコンサート<br>◇入場料：無料                      | 12月17日(土)<br>17:30～(開場17:00)     |
| バレエの街コンサート2017<br>◇入場料：一般2,000円 中学生以下1,000円             | 平成29年1月15日(日)<br>14:00～(開場13:30) |
| 金沢泉丘高等学校合唱部 第8回定期演奏会<br>◇入場料：500円                       | 平成29年3月25日(土)<br>14:00～(開場13:30) |



今年も素晴らしい公演をお届けします。皆さまお誘い合わせの上、ぜひ来場ください!

★応募や公演予定の詳細は、当館ホームページからご覧になれます。公演申込書もダウンロードできます。

平成28年度「教育文化研究会」募集のご案内

※参加ご希望の方は、文教会館事業課までお問合せください。

|     | 研究会名       | 定員 | 年会費             | 内容                             | 日時                       |
|-----|------------|----|-----------------|--------------------------------|--------------------------|
| I   | もっと知りたいアジア | 10 | 5,500円<br>全11回  | アジアの地理、歴史、時事問題、料理等を楽しく学習する     | 第2土曜日<br>14:00~16:00     |
| II  | 源氏物語を楽しむ   | 10 | 11,000円<br>全22回 | 『源氏物語』の原文等、様々な文献にあたり古典の奥深さを味わう | 第3・4土曜日<br>10:00~12:00   |
| III | 茶道入門教室     | 10 | 11,000円<br>全22回 | 簡単なお手前、作法を1年間で学ぶ               | 第1・3月曜日<br>12:00~16:00   |
| IV  | 中世芸能研究会    | 7  | 18,000円<br>全36回 | 初心者の謡曲入門                       | 第1・2・3火曜日<br>18:30~19:30 |
| V   | 近世芸能研究会    | 15 | 15,000円<br>全30回 | 初心者の詩吟入門                       | 第1・2・3木曜日<br>18:00~19:00 |

※文教国際理解講座・文教アートウェイブ・教育文化研究会は、「いしかわ県民大学校」の連携講座です。

